

## 【意見の概要とそれに対する市の考え方】

No	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	<p>1、蒲萄スキー場の営業方針（1P）</p> <p>（1） 冬場の親雪利雪活動の一環として、雪に親しむよう広報活動を実施するとともに、初心者教室の開催やスキー授業の誘致などを行い、市民の健康増進、青少年の健全育成に貢献できる事業や活動を工夫する。</p> <p>（2） リフト等の総点検に基づく施設整備を行い、リフト等の安全を確保するとともに、安心して利用いただけるよう安全管理体制の強化とPR活動に努める。</p> <p>（3） 市民や地域、スキークラブ等との連携を深め、お客様に対するサービスを向上させるとともに、地域の活性化に貢献でき、お客様や市民が集える事業の促進に積極的に取り組む。</p>	<p>案では図るという表現を用いており、工夫し努力するという趣旨であり、要旨はあまり相違ないと考えています。</p>
2	<p>営業方針下段、蒲萄スキー場の魅力は・・・スキーヤー、スノーボーダーの愛好家が集う。（1P、下から5行目）</p> <p>市民、地域、市職員、スキークラブなどが協働して運営・・・を追加する。（1P、下から2行目）</p>	<p>愛好家以外の方も多く利用しているため、愛好家という表現を追加しなくてもよいと考えます。</p> <p>市職員も当然のことながら市民の皆さんとともに協力して運営していかなければならないと考えているため、「市職員、」を追加します。</p>
3	<p>2、蒲萄スキー場の運営方針（2P）</p> <p>（1） 雪国に生まれた村上市民の冬場の健康・体力増進、健全育成、学校教育や生涯スポーツの施設として、また、地域の活性化や元気づくり、地域の雇用の重要施設として、市民や地域住民が一体となったスキー場運営を目指す。</p> <p>（2） お客様に安全に安心して利用し、満足していただくための安全点検の日常化、職員の意識教育、施設設備の整備などを重要課題として、管理運営体制の徹底を図る。</p> <p>（3） 地域、市民を巻き込んだワークショップを開催し、サポート体制の確立やスキー場のあり方などを、反省・検討・発案し、初心者や子どもや市民が安心して、楽しめる場としての魅力あるスキー場運営を目指す。</p>	<p>項目数の違いはありますが、分かりやすくするために6項目に分けて表現しています。要旨はあまり相違ないと考えています。</p>

4	1、運営方針 「数値目標」を「 <b>営業に向けた</b> 数値目標」に変更していただきたい。(2P、上から10行目)	運営方針の中の数値目標なので「営業に向けた」の文言を入れなくても意味が理解できると考えます。
5	現在、学校のスキー教室で蒲萄スキー場を活用している7校は、もう少し日数を増やす努力が必要であると考えます。(2P、上段、学校授業の受け入れ)	学校授業の受け入れ目標で示しているとおおり、多くの児童生徒に来ていただけるように、教育委員会や学校と協議しながら、一校でも、一回でも多くの学校に利用していただけるよう努力いたします。
6	現在学校のスキー授業で、わかぶな高原スキー場を活用している学校を、1校でも多く蒲萄スキー場を利用してもらうよう方向性を考えなければならない。(2P、上段、学校授業の受け入れ)	
7	蒲萄スキー場で、新たにスキー授業を始める学校の受入態勢を考える。 (2P、上段、学校授業の受け入れ)	受け入れ態勢がなければ新しく来ていただけないため「新たにスキー授業を始める学校の受入態勢を整え、また営業活動を強化することで入場者数の増加を目指す。」を追加します。
8	2、「運営形態・職員等の配置」を「 <b>営業</b> 形態・職員等の配置」に変更していただきたい。(2P、17行目)	スキー場という組織を動かすという意味合いから、運営形態が適当であると考えます。
9	(3) 学校授業のサポート体制の確立 「スキークラブの協力はもとより、スキー授業をサポートできる <b>市民・市職員</b> 等を募るほか、総合型地域スポーツクラブと連携した『スポーツコミュニティー事業』を通じた外部指導者の <b>掘り起しと</b> 活用を図る。」に変更していただきたい。(2P、下から3行目から)	学校のスキー授業は平日に開催しているが、蒲萄スキー場にはスキー学校が存在していないため、学校では指導者やサポートできる方が少なく苦慮していることから、市民への呼びかけ、指導者の掘り起しは必要と考えますので、「市民・」と「掘り起しと」を追加します。なお、スポーツコミュニティー事業が終了するので事業名を削除します。
10	「営業時間」と「リフト運転時間」を別々に表記しているが、「リフト営業時間 8:30~16:00」のみの表記としていただきたい。(3P、2,3行目)	分かり易い表現とするため、「リフト営業時間 8:30~16:00」とします。
11	リフト料金について、「大人」「小人」料金の他に、「高校生・レディース・シニア(55歳以上)」料金を設けた方が良い。(3P、リフト料金表)	これからの世代である所得のない高校生や退職した団塊の世代をターゲットにすることは入込客増加につながるかと考えます。ただ、女性の方すべてとなると対象者が多くなるため「高校生・シニア(60歳以上)」の料金を設定します。
12	「大人」「小人」「高校生・レディース・シニア」とも、リフト料金の1回券を250円に統一していただきたい。(3P、リフト料金表)	近隣スキー場のリフト料金も統一しているところが多いことから、1回券を250円に統一します。
13	「高校生・レディース・シニア」のリフト料金をそれぞれ、回数券(11回券)2,000円、4時間券1,500円、1日券2,500円、シーズン券22,500円、シーズン券(市民早割券)18,000円、シーズン早割券20,000円としていただきたい。(3P、リフト料金表)	大人、小・中学生リフト料金とのバランスを考え別表のような料金設定が利用しやすいと考えます。

14	「小人」のリフト料金をそれぞれ、回数券（11回券）1,500円、1日券1,500円に変更していただきたい。（3P、リフト料金表）	大人、小・中学生リフト料金とのバランスを考え別表のような料金設定が利用しやすいと考えます。
15	シーズン券の下越割は、均一2,000円だが、小・中学生と50歳以上、レディースは1,500円にしたい。	下越地域スキー観光連絡協議会で行っているサービスであるため、協議会と連携し対応いたします。
16	レンタル料金について、「ポール」のみのレンタルは300円に変更していただきたい。（3P、下から10行目）	ポールは、お客様の利用しやすい料金体系とするため、300円とします。
17	3、営業内容について 食堂について、営業時間を表示していただきたい。（3P、下から2行目）	食堂の運営については、民間の方に貸し出して営業しています。毎年、同じ営業時間で営業するか不確定な要素があるため、今後関係者と協議し表示できるようにしていきます。
18	4、研修について 事故などがあった場合、スキーが全く滑れない職員では業務を遂行できないため、職員の方に「スキー技術研修」を受けていただきたい。（4P、上段）	スキー・スノーボードのできない職員ではスキー場運営に関してプラスとはならないことから、スキー研修が受けられるよう取り組みます。
19	ゲレンデの良し悪しは、安全・安心なゲレンデ整備の要とも言えるため、「圧雪車の運転研修」も加えていただきたい。（4P、上段）	ゲレンデの整備は多くのお客様から要望のある事項であり、安全安心なゲレンデ整備を目指すため、「圧雪車運転研修」の項目を追加します。
20	職員の圧雪車運転技術研修を行うべき。圧雪車を運転する方は、研修を受けた技術レベルの高い方をお願いしたい。（4P、上段）	安全・安心なゲレンデ整備を目指すため、職員に研修を受講させるなどし、運転技術の向上に取り組みます。
21	圧雪車を何人も職員が運転する体制は良くない。（4P、上段）	安全安心なゲレンデ整備を目指すため、体制を見直します。
22	他のスキー場の視察研修を行っていただきたい。（4P、上段）	他のスキー場から学ぶことは大切なことと認識していますので、今後資質向上のための研修に取り組んでいきます。
23	7、施設整備 ・レンタル部門の充実⇒ <b>レンタル用品の購入と充実</b> としていただきたい。（4P、下から1行目）	学校授業や初心者者の要望に対応するため、レンタル用品の購入と充実を図らなければなりません。「レンタル用品の購入と充実」と表現を変更します。
24	初心者・初級者が滑れるコースを考えた場合、今のグレーロードを拡幅し、斜面の見直しを考えなければならない。（4P、下段）	初心者コースの設定は誘客のために必要であるとは認識していますが、現在のコース改良となると多くの財源を必要とするため、今後の検討課題と考えます。
25	8、営業計画について 事業項目の「営業の強化」「広報の充実」「看板のリニューアル」をまとめて、「広報活動の強化と充実」に一本化した方がよい。（5P、1行目）	事業項目をまとめて「広報活動の強化と充実」とします。

26	リフト2本で山頂に行ける。風に強い。雪質が最高。ゲレンデに起伏がある。料理がうまい。ファミリー、一般、中高年などの的を絞ったPR活動が必要である。(5P、上段)	蒲萄スキー場の魅力を再確認し、的を絞った誘客宣伝に努めていきます。
27	「山形県庄内地域への誘客活動強化」と限定しているが、「新潟県内・福島県・長野県」なども入れていただきたい。(5P、上段)	新潟県内や隣県への誘客活動を全く行わないということではないため、「県内や隣県、特に山形県庄内地域への誘客活動強化」と表現を変更します。
28	瀬波温泉の宿泊とリフト券とのセット販売、JRの東京往復新幹線代と宿泊代とのセットで販売されているTYOのようなJRとの連携、一部高速道路利用料金を負担する等のサービスはできないか。(5P、上段)	多くのお客様に来場していただくよう温泉関係者やJR関係者と協議し誘客に努めていきたいと考えます。
29	蒲萄スキー場と瀬波温泉とタグを組んでHPを作成し、スキー場と温泉スタッフのブログやお得情報をアップしてはどうか。雪の状況、各瀬波温泉の情報を発信し、その文章の中にHPをリンクさせて閲覧できるようにする。(5P、上段)	ホームページやブログなどを使った情報発信は広くお客様に周知できる手段として認識しています。関係者と協議しながら検討していきます。
30	国道や高速道路降り口に手作り案内板を設置していただきたい。(5P、上段)	広告宣伝、誘客のために看板を設置することは有効な手段と考えます。わかりやすい看板の設置に努めます。
31	リフト下の落し物については、係員が率先して取りに行くような教育意識改革をしていただきたい。(5P、下段)	職員の教育を徹底し、お客様の安全確保を第一に考え、職員の意識改革に取り組んでいきます。
32	リフト支柱の雪落としをまめに行っていただきたい。(5P、下段)	お客様の安全・安心の面からも、雪落としを頻繁に行っていきます。
33	いつも笑顔、お客様へ感謝の気持ちを持つよう、職員への教育指導を徹底しなければならない。(5P、下段)	笑顔の接客でお客様と接するよう教育指導を徹底します。
34	リフト乗り降りの際、減速するなどの配慮が必要。(5P、下段)	お客様の安全確保を第一に考え、教育・指導を徹底します。
35	ゲレンデ外で滑っているスキーヤーに対して、注意と指導をもっと厳しくするべき。(5P、下段)	安全安心なスキー場運営を目指し、利用するお客様のマナー向上に努めます。
36	パトロール部門の目標の中に、「スキーヤー・スノーボーダーのマナー向上の取り組み」も入れていただきたい。(5P、下段)	スキー場の安全安心を確保するためにおいて、来場者のマナーを向上させることは大切なことと考えます。「利用客のマナー向上」「利用客のマナー向上の取り組み」を追加します。
37	職員は出勤の際、自家用車を第2駐車場へ停めるよう配慮が必要であると考えます。(5P、下段)	お客様に不快感を与えぬよう教育指導を徹底します。

38	<p>10、村上市蒲萄スキー場組織図について パトロールの項目の中に「客へのマナー注意（グレンデ外滑走注意、グレンデ上の止まり方など）」を入れていただきたい。 リフト係 2 班の項目の中に、「接客マナー（朝のあいさつ、感謝の表現）」を入れていただきたい。 (6P)</p>	<p>安全・安心なスキー場運営を目指し、マナー向上に努めます。5 ページの部門別目標のパトロールの欄に「利用客のマナー向上」「利用客のマナー向上の取り組み」を追加します。</p>
39	<p>「②誘客のための営業活動強化 新潟、新発田市内及び鶴岡市内のスポーツ店や体育施設、イベント会場などへリフト割引券や招待券、パンフレットなどを配布する。」 に変更していただきたい。(8P、上から 6, 7 行目)</p>	<p>営業活動を強化しなければ更なる誘客、スキー場の活性化にはつながらないため、営業活動強化に取り組むたいと考えます。「イベント会場」「パンフレットなど」を追加します。</p>
40	<p>「近隣のスキー場及び県内外のスキー場とのシーズン券の特割提携をする。」を入れていただきたい。 (8P)</p>	<p>他のスキー場と連携し誘客につなげることも大切と考えます。②誘客のための営業活動強化の後段に「また、他のスキー場との連携した営業活動の強化に取り組む。」を追加します。</p>
41	<p>「④新雪コースなどが楽しめるコース設定」の項目を削除していただきたい。 (8P、上から 11 行目)</p>	<p>お客様の要望の中には、きれいに圧雪されたグレンデを求める方、新雪コースやコブ斜面を求める方など様々です。皆さんの要望に応えたいと考えるため、削除せず取り組んでいきます。</p>
42	<p>「⑤初心者や子どもが楽しめるコースづくり スキーの技量が一定程度上達した初心者や子どもたちが飽きずに楽しめるポール、コブ、ウェーブなどを設置する。」ジャンプ台は危険なので削除に変更していただきたい。初心者コースの設定を追加。 (8P、上から 14 行目)</p>	<p>初心者コースの設定は誘客のために必要であるとは認識していますが、現在のコースでは難しいところがありますので今後の検討課題といたします。</p>
43	<p>「⑨スキー・スノーボード教室の開催」について、中高年層を対象としたスノーボード教室は、ケガが予想されるので、スキー教室の方がよい。(8P、下から 13 行目)</p>	<p>怪我等のリスクはスポーツを行う上ではある程度考えておかなければなりません。お客様のニーズを調査し、安全に配慮しながら開催を検討していきます。</p>
44	<p>「⑬地域と連携した通年利用の対策」について、「冬の山頂観光とフォトコンテストの実施」を入れて欲しい。(8P、下から 3 行目)</p>	<p>地域と連携した通年利用の対策は、地元団体などと連携、協力していかなければならないと考えていますので、フォトコンテストなども実施に向けて検討していきます。</p>
45	<p>村上駅と各瀬波温泉宿、蒲萄スキー場との間の無料送迎バスを運行することで、観光客にアクセスの煩わしさを軽減させればより魅力ある商品になると思われる。(8P)</p>	<p>お客様の要望を把握しながら、無料送迎バスの運行など魅力ある商品づくりを進めなければなりません。ニーズの把握をしながら、検討したいと考えます。</p>

46	スキー用具を蒲萄スキー場へ直接宅急便で送れるようにすれば、手ぶらで行けて助かる。「手ぶらパックコース」として商品化するのも良いのではないか。(8P)	現在の利用客はほぼ 100%の方が自家用車を利用して来場します。魅力ある商品を作るため、ニーズの把握をしながら、検討したいと考えます。
47	市で観光アプリを作成し、施設利用回数を把握、リピーター専用リフト割引券等の割引券の画面を出したり、宿泊先のサービス券（足裏マッサージ等）を付加したりしてはどうだろうか。(8P)	観光アプリを作成など、新規の客層を獲得するための手段の一つとして検討したいと考えます。
48	スマートフォンを所持していない方に対しては、ポイントカードを作って提示してもらおうというのはいかがでしょうか。(8P)	お客様に何度も来訪していただけるような魅力のある仕組み、取り組みを検討したいと考えます。
49	収入予想がH25に1000万円、H29には1400万円と5年で収入を1.4倍にしようとしている。相当な努力をしないと達成できない数字である。市民皆様の血税が無駄に使われないよう行政も血の滲むような努力をしてほしい。(資料)	5年間で1.4倍の収入見込みは、過大な数字かもしれませんが、その数字に向かって取り込む意気込みであり、市民の皆様に理解を得られるよう努力していきます。